

100号ラインカッター

<取扱説明書>

【特徴】

大物釣りでの枝針仕掛けの釣りとして、「深海釣り」「喰わせサビキ」「泳がせサビキ」「エレベーター釣り」「飲ませサビキ」などの呼称で呼ばれる釣り方があります。そのような大物相手の仕掛けでは、ナイロン10号とか20号なども使うこともあるようです。そんな極太ナイロンラインを定尺で繰り返し切断する治具になります。

今回のdopotimeへの開拓依頼では、ナイロン20号切断が要求事項でしたが、最終的な装置性能は100号まで切れるものになっています。「回転自由な円盤カッター」と「S字カーブスリット」を組み合わせたことが特徴です。このようにすることで引き切りによる摩擦負荷がなくスムーズに軽い力で切断出来ます。（下写真参照）



【使い方】

- ① ハリスを定尺で切断する場合、ハリス端部に針を結んだり、サルカンを結んだり、結んで環を作り、その環を本装置の基点ピンに掛けます。その基点ピンから一定の距離に配置したラインカッターのスリットにライン入れ込むだけでコクンッとラインが定尺で切断出来ます。
- ② 基点ピンとUターンロッドを往復することで長いラインも定尺で切断出来ます。細いナイロンラインであればUターンロッドでラインが弛むことないため本体セットだけで問題ありません。
- ③ ……ですが、太いナイロンラインではUターンロッドでラインの弛みがでるため、大物釣りの太いラインで精度良く同じ長さで切断したい場合には延長アルミレールのオプションを用意しています。お好みで追加してご購入ください。2連、3連と繋げれば繋げるほど長くできますが、あまりに長く連結すると手が届く範囲を超えるため作業性も考慮して追加してください。……なので延長アルミレールは必要ならばプラス1本、多くてもプラス2本で十分と思います。
- ④ ラインカッターは取り付け向きがあります。逆向きに取り付けると刃が破損しますのでご注意ください。ナイロンにテンションを掛けて円盤カッターに当てる際に円盤カッターがアルミアングル側に押し当てられる向きが正しいセット方向です。（上写真参照）
- ⑤ あとは十分にラインにテンションを掛けてスリットに入れていけば簡単に切断できます。必ずテンションを掛けて張った状態で刃に降ろして行ってください。

【刃の交換】

- ① 円盤カッターはオルファの「円形刃 18ミリ替刃 2枚入」をご使用ください。
- ② 円盤カッターを押さえているセットカラーの六角イモネジを六角レンチで緩めてください。
- ③ 次にセットカラーと円形刃を取り出してください。全周が刃ですので取り扱いに注意してください。
- ④ 新しい刃と交換しセットカラーが刃に軽く当たる位置で六角イモネジを締めて固定してください。ナイロンラインを当てて刃が回転するか、またはグラつかないかを確認してください。



【注意事項】

- ① 本来の用途以外には使用しないでください。
- ② 刃交換は刃物ですので十分に注意してください。
- ③ 子供やペットなど、手が届かないところに保管ください。